

平成 27 年 5 月 27 日

平成 27 年 3 月期 決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

(百万円未満切捨て)

1. 27 年 3 月期の個別業績 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 3 月期	30,438	△6.0	1,200	△28.2	1,275	△25.6	1,273	△15.8
26 年 3 月期	32,372	+1.1	1,673	+34.8	1,715	+33.6	1,512	+580.3

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27 年 3 月末	24,149		12,808		53.0	
26 年 3 月末	25,022		11,321		45.2	

2. 経営状況について

【全体状況】

当社は、存在感の際立つファブリックメーカーとなることを経営のビジョンに掲げ、事業に取り組みました。

当事業年度にはグループ全体の経営資源の集約と呉服ショップの事業拡大を目的に、呉服販売子会社の「和ぎゃらりい」を4月1日付で吸収合併しました。

商品面では、ウール素材のタイルカーペットシリーズ「プレミアムバンク VOL.2」、及び家庭用ラグカーペット「ラグコレクション VOL.3」を7月に、最上級のオーダーカーテンシリーズ「filo(フィーロ)」を11月にリニューアル発売しました。

当事業年度の売上高は、和ぎゃらりいの吸収合併効果などにより身装・美術工芸事業は売上を伸ばしたものの、事業規模の大きいインテリアファブリック事業の売上高が前年を下回ったことから、前年同期比19億33百万円(6.0%)減収の304億38百万円となりました。

損益は、全社をあげての生産性向上活動や原価低減・経費削減により収益改善に努めましたが、売上高の減少による収益悪化の影響をカバーするには至らず、営業利益は前年同期比4億72百万円減益の12億円、経常利益は同4億39百万円減益の12億75百万円、当期純利益は同2億38百万円減益の12億73百万円となりました。

【事業別状況】

[身装・美術工芸事業]

帯中心の事業から和装全体への事業へと業容拡大をめざし、呉服ショップを展開する子会社の和ぎゃらりいを吸収合併し、新規出店を実施したことなどから、売上高は前年同期比41百万円(1.7%)増収の25億34百万円となりました。

営業利益については、呉服部門・美術工芸部門ともに総じて低調に推移し、既存事業の売上高が減少したことなどから、前年同期比1億75百万円減益の61百万円となりました。

[インテリアファブリック事業]

大企業を中心とした景気回復に支えられ、店舗やホテルの改装などを中心とした法人需要は好調に推移したものの、消費税増税による反動減の影響を受けた百貨店・専門店・ハウジングメーカーなどのホームマーケットへの販売が低迷したことに加え、主力のオーダーカーテンも売上を落としたことなどから、売上高は前年同期比19億84百万円(6.6%)減収の278億94百万円となりました。

営業利益については、原価低減や経費削減に努めたものの、売上高の減少による収益悪化の影響をカバーするには至らず、前年同期比3億4百万円減益の12億33百万円となりました。

以上